

人権教育参観授業、講演会

令和5年11月13日(月)

2校時 参観授業

教材

1年生 子どもの権利

2年生 自分たちがもっている権利について学ぼう

3年生 本とペンで世界を変えよう



1年生



2年生



3年生

3校時～4校時

人権教育講演会

講演内容

演題 「ユニセフ※と子どもの権利」

※国際連合児童基金

講師 山口県ユニセフ協会

山岡智恵子様、松村由美子様、他7名のスタッフの方々



スタッフの方々



説明中



クイズへの挙手



腕の太さの測定

貧困に苦しむ子どもの腕の太さはペットボトルのキャップと同じであることに愕然。



水くみで子どもたちが運ぶ容器と同じくらいの重さのツボ。想像以上に重い！



蚊からマラリアの感染を防ぐための蚊帳。



講師の方からのインタビューに答える男子生徒。



生徒代表お礼のあいさつ



地域、保護者の方々

講演会の感想より

私は今、学校に通うことができ、学校で自分の大好きな友達と楽しく会話ができています。しかし、周囲の情勢の影響でそのような幸せを味わうことができない子どもたちが世界にたくさんいるということを改めて知りました。そこで私は、1つの疑問が浮かびました。それは、「同じ人間なのにどうしてこんなにも差があるのか。」ということです。もし今、アフリカなどで学校に行くことができない子どもたちが日本で生まれていたとしたら、このような苦しみに耐える必要は無いはずですが、けれども運命というものには避けがたいもので、周囲の環境はそう簡単には変えられません。だからこそユニセフという、一人で苦難を耐え抜く人たちのための組織があり、今こうして活動されているのだと感じました。

これからは、私が健康で、そして元気でいられることに感謝し、貧困や戦争にも目を向け、私にもできる活動があれば、行動していきたいと思います。

～3年生女子より～

みんなで世界平和へ向けて行動しましょう！

